

英語科 公開授業 指導案

<授業者> 高橋美希	<公開学級> 1年B組	<場所> 1階1年B組教室
------------	-------------	---------------

1 単元名 Unit8 Story1(本時2/8)

2 教材について

本単元は、「Unit8 A Surprise Party」を中心に扱う。本単元で中心となっている現在進行形の文は、現在の状況を伝えるために使われる他、授業中でのインタラクションで絵の中の人物の動作を示すのに使われる。特に後者では今後も多用されるので、自然なやり取りの中で定着を目指したい。動作にingをつけることは比較的早く定着するが、be動詞をつけること及び適切なbe動詞の選択の定着には時間がかかるので、あせらずに練習させたい。

本単元の新出文法は現在進行形である。現在進行形がもつライブ感・いきいき感のよさを生かしたいと考え、動画を紹介する活動を仕組んだ。その動画も部活動・クラブ活動の動画の説明という、身のまわりのことで生徒が共通して関心をもっていることを扱う。そして単元の終末には、自分が所属する部活動又はクラブ活動の魅力をALTの家族にタブレットを使用して紹介するという活動を行いたい。そのために本時は仲間に部活動やクラブの魅力を紹介する。自分の部活動の魅力を紹介するために、教科書からヒントとなる表現を探し出し、取り入れるようにしたい。また新出文法である現在進行形は使い分けられればよいので、使用されなくてもよいものとする。さらに課題においても、目的・場面設定もperformance testを見越し、臨場感があるものにしたいと考え、工夫した。

3 研究に関わって

生徒の実態から、研究内容に関わって以下のような指導・援助を考えた。

研究内容(1)主体的・対話的な追究活動の工夫

ア：細分化された付けたい力を明確にした必然性のある小集団交流

会話活動においては積極的に取り組むことができる生徒が多いが、即興的に考えを伝え合うことに弱さを感じる。そこで、どのような表現を使えば、自分の部活動の魅力を相手に伝えることができるのかに気付くために、教科書や仲間の意見を参考にして英語表現を増やしていきたいと考える。本時、会話活動を2度行う。1度目は話題だけ提示するが、使用する英語は指摘しない。子供たちから出る自由な表現を生かすためである。自らの意志・判断で交流した表現を全体で交流し、そのよさを感じとらせる。2度目は読みとりや仲間とのやりとりから得た表現を使用する。その2度の会話活動は4人グループで行う。ただし、ペアで会話活動を行い、他の2人はやりとりを聞く。同じペアで活動することで、1度目と2度目のお互いの伸びを実感することができると考え、設定した。

手立て①役割を設定した同一ペアによる複数回の交流の時間を設ける。

研究内容(2) 自己肯定感の向上を促す終末の工夫

イ：学習内容の定着が実感できる評価問題・活動

本時、「どちらのペアの部活動に入部したいか。」という活動を行う。その際、どの表現が心に残って、その部活動を選んだのかを明らかにさせる。それにより、選ぶ側も表現を根拠にして、選ぶことができる。選ばれた側も、自分自身の表現の良さに気付くことができるようにする。

手立て②表現を根拠として、部活動の選択をさせる。

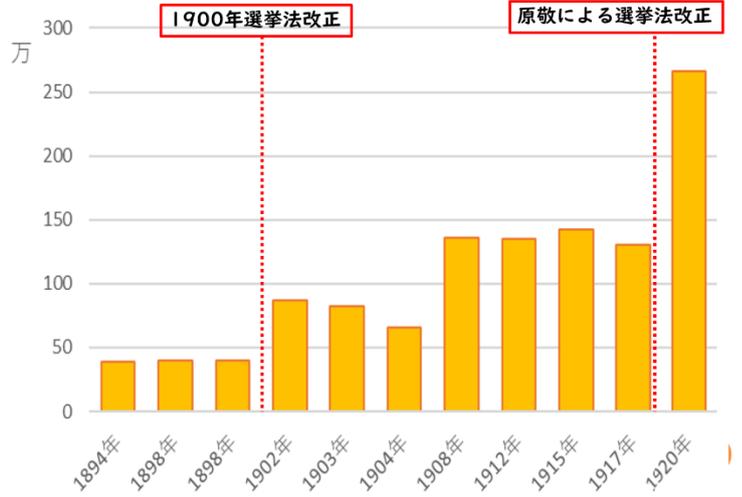
4 本時のねらい

教科書の表現を読み、そこで知った内容を仲間との交流で使うことを通して、どのような表現を使えば会話をつなげたり自分の状況を伝えたりすることができるのかに気づき、部活動の様子をやりとりすることができる。

5 本時の展開

	学習活動	指導・援助 留意点
導入	<p>Small Talk (3分前学習)</p> <p>Did you watch Olympic games?</p> <p>ケッター先生が部活動・クラブのどこにも所属していません。あなたはどうしても部員を増やしたいと思っています。自分の部活動・クラブに入ってもらえるために魅力や活動内容を紹介します。</p>	<p>■帯活動では、毎時間ある話題に対して自分の考えや意見をペアで述べ合う活動に取り組み、コミュニケーションを継続していくための語彙や表現、態度を身に付けさせる。</p> <p>■言語活動1</p> <ul style="list-style-type: none"> どのようなやりとりがあり得るか即興的に考えたことや、質問や、受け答えができるように活動する。大切にしたいことは、どんな言語材料を使えばいいのか生徒たちに考えさせるためにも、話題だけは提示するが、使用する英語は指摘しない。
	<p>1. 言語活動1</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画の紹介をペアで行う。どちらのペアの部活動に入部したいか。 <p>S1: Hello! I'm in the soccer club. Look at this! S2: Nice! S1: Do you like soccer? S2: Yes, I do! I like soccer very much.</p> <p>2. リスニング</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話をつなげるためのヒントを探しだし線を引く。 <p>・ What are you doing? ・ I'm watching TV. ・ Can you come to my house?</p> <p>3. 本文音読</p> <ul style="list-style-type: none"> リピート (1語→全文) →交互→ペア練習→Active reading 文法指導 <p>T: 主語は I です。play soccer S: I am playing soccer. T: 主語は Ken です。read One Piece S: Ken is reading One Piece. T: 主語は We です。study science S: We are studying science.</p> <p>4. 新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出単語と日本語の意味を線でつなげる <p>5. 表現確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ケッター先生に紹介する。 できた表現・わからなかった表現の確認 input したい表現 <p>・ It's interesting. enjoy strong kind practice teach</p> <p>6. 言語活動2</p> <ul style="list-style-type: none"> 再度ペアで動画の紹介活動を行う。どちらの部活動に入りたいか。 <p>【本時の終末で到達させたい姿】</p> <p>S1: Hello! I'm in the soccer club. Look at this! S2: Cool! What are you doing? S1: I'm kicking the ball very fast. Can you do this? S2: No, I can't. But I enjoy soccer. Our coach is very kind S1: Nice!</p> <p>7. 交流</p> <p>一度目は少ししか説明できなかったが、二度目は全体共有から学ぶことができ、いろんな表現をすることができた。魅力や活動内容を伝えることができ、選んでもらえた。</p> <p>【評価規準】<表現></p> <p>周りの人に自分の部活を説明するために、魅力や活動内容について、伝え合っている。仲間との言語活動から判断する。</p> <p>評価方法：発言</p>	
展開		<p>■研究内容(1)ーア</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書や仲間の意見から会話をつなげるためのヒントを探す。表現できそうな文章を見つけだし、取り入れることができるようにする。英語を使わせて、使用した表現を出させて、全体に共有したいと考える。また分からない表現等も出させて、皆で考え、間違いを減らしていきたい。 <p>■音読</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまなパターンの音読に取組ませ、音に慣れ親しませることで、本時週末の言語活動につなげていきたい。また英会話につなげ、本時の内容理解をはかる。 <p>■新出語句の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> リスニングや本文音読により大体の意味の理解を十分に習得させるために行う。 <p>■研究内容(2)ーイ</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じグループで確認することで、言語活動1から2の活動を行うことで、お互いの伸びを実感できるようにする。 本時の内容に対応する教科書には現在進行形があるが、使用できなくてもよいものとする。使い分けられているかを大切にしていきたい。
終末		

明治後期の選挙投票者数



総務省「日本長期統計総覧」より 円の価値は日本円消費者物価計算機により換算